

市政研究会 水谷 進 議員



- 1 教育委員会でのプロポーザル方式
(1) 過去2度について検証はしたのか
(2) 今後の方針は協議されているのか
- 2 自治会について
(1) 行政と自治会の関係について
(2) 行政懇談会の在り方について

質問1(1) 現在の採点方式では、大手企業が優位になると共に、課題に対する1番良い提案が採用されない恐れがあるのではないかと。

答弁1(1) 過去2件については特段の問題も無かったと考える。しかし、進め方については改善点もある事から実施要綱などの見直しを検討していきたい。

質問1(2) 平田野中学校については、いつまでにどの

ような議論がされるのか。

答弁1(2) 今回の見直しを踏まえ、更なる透明性、公平公正な業者選定の在り方を本年度内に決定する。

質問2(1) 新しい「すずか」をつくるためには、行政と自治会の関係をどのように考えるか。

答弁2(1) 行政と自治会はお互いが協働し、健全なまちづくりを進めるためのパートナーとして、今後も支え合う姿勢が求められていると認識している。

質問2(2) 懇談会の有意義な機会を鈴鹿市の現状や課題等も話し合えるようお願いをすることはどうか。

答弁2(2) 行政懇談会の主催は自治会連合会である。協働によるまちづくりに取り組むなかで、行政と自治会お互いが役割を担っていくために、行政懇談会を更に充実して頂き活用させて頂きたい。

すずか倶楽部 後藤 光雄 議員



- 1 近鉄白子駅の名称について
- 2 NTT西日本研修センタ跡地土地利用転換計画の推進について

質問1(1) 鈴鹿市をシティセールスしていくうえで白子駅の名称をどのように考えているか。

答弁1(1) 白子駅の名称については行政主導ではなく白子周辺の皆様のご理解と市民の合意形成が肝要と考え、動向を見守っていきたい。

質問2(1) H16年に発表された跡地土地利用転換計画策定事業概要から今日までの動きは。

答弁2(1) 市が整備する防災型公園は、事業計画の検討に入っており、新産業支援ゾーンはものづくり支援センターの設置について検討している。NTTが担当す

る健康福祉ゾーンは4つのエリアに分け企業の進出意向の把握に取組中。

質問2(2) 跡地に残る第一鈴鹿海軍航空基地の遺跡群を、二度と戦争をしない心を持ち続ける為に文化財として保存できないか。



戦争遺跡(二畑町)

答弁2(2) 鈴鹿に残る戦争遺跡の中でどれを文化財指定して保存すべきかを文化財調査会に審議依頼中である。

質問2(3) 残された施設の再利用を考え、全体が地域防災拠点となる総合防災公園兼運動公園として、利用転換計画を推進できないか。

答弁2(3) 変更は考えられない。

市政研究会 中村 浩 議員



- 1 定額給付金について
- 2 公民館等の市民サービスについてパート8
- 3 Cバスについてパート8

質問1 市としては、どのような対応をするのか。

答弁1 国の動向を見守り、県内他市と足並みをそろえたい。

質問2 長太公民館で住民票の写しが発行できるよう地元から要望が出ているが、その対応は。証明書自動交付機を設置できないか。

答弁2 証明書等の交付サービスは、地元市民センターでのサービスを基本と考えている。証明書交付機は、設

置にあたり高額な負担を必要とする事から当面は現状で理解いただきたい。しかし、検討については今後も行う。

質問3 前回の答弁で他の地域の問題点等、今後の公共交通網をどのように維持・補完していくかを調査する時期に来ていると答弁があったが、具体的にはどのような方策を考えているのか。

答弁3 現時点では、交通課題やニーズを把握・分析するためのヒアリング調査やアンケート調査の実施が想定されるのではないかと考えている。



Cバス